

懇談会設置の趣旨

資料 1

懇談会
20180131

サービス付き高齢者向け住宅については、平成23年の制度創設から6年経過し、この間、登録戸数も約23万戸まで増加していますが、高齢者の住まいとしての重要な役割を担う一方で、適切な立地の誘導、地域の医療・介護サービスとの連携、低所得高齢者への対応など、様々な課題も指摘されているところです。

国土交通省では、厚生労働省と連携し、平成28年5月に「サービス付き高齢者向け住宅の整備等のあり方に関する検討会」において、高齢者向け住宅のあり方と施策の方向性についてとりまとめを行い、それを踏まえた検討・取組を進めています。

本懇談会は、こうした取組の状況についてフォローアップを行うとともに、幅広くご意見をいただき、今後の効果的な施策展開に向けた参考とさせていただくために設置するものです。